

5月23日

話させてくださる御霊  
使徒の働き2章1～13節

招きのことば

## 詩篇100篇

全地よ。【主】に向かって喜びの声をあげよ。

喜びをもって【主】に仕えよ。喜び歌いつつ御前に来たれ。

知れ。【主】こそ神。主が、私たちを造られた。私たちは主のもの、主の民、その牧場の羊である。

感謝しつつ、主の門に、賛美しつつ、その大庭  
に、入れ。主に感謝し、御名をほめたたえよ。

【主】はいつくしみ深くその恵みはとこしえまで、  
その真実は代々に至る。

# 使徒信条

我は天地の造り主、  
全能の父なる神を信ず。  
我はその独り子、我らの主、  
イエス・キリストを信ず。  
主は聖霊（せいれい）によりてやどり、  
処女(おとめ)マリヤより生れ、  
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受  
け、

十字架につけられ、死にて葬られ、  
陰府(よみ)にくたり、  
三日目に死人のうちよりよみがえり、  
天に昇り、全能の父なる神の右に座したまえ  
り、

かしこより来たりて、  
生ける者と死にたる者とを審きたまわん。  
我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、  
聖徒の交わり、罪の赦し、  
身体のよみがえり、  
永遠の生命を信ず。  
アーメン。



**聖書**

**使徒の働き2章1～13節**

2:1 五旬節の日になって、みなが一つ所に集まっていた。

2:2 すると突然、天から、激しい風が吹いてくるような響きが起こり、彼らのいた家全体に響き渡った。

2:3 また、炎のような分かれた舌が現われて、ひとりひとりの上にとどまった。

2:4 すると、みなが聖霊に満たされ、御霊が話させてくださるとおりに、他国のことばで話したした。

2:5 さて、エルサレムには、敬虔なユダヤ人たちが、天下のあらゆる国から来て住んでいたが  
2:6 この物音が起こると、大ぜいの人々が集まって来た。彼らは、それぞれ自分の国のことばで弟子たちが話すのを聞いて、驚きあきれてしまった

○  
2:7 彼らは驚き怪しんで言った。「どうでしょう。いま話しているこの人たちは、みなガリラヤの人ではありませんか。

2:8 それなのに、私たちめいめいの国の国語で話すのを聞くとは、いったいどうしたことでしょう。

2:9 私たちは、パルテヤ人、メジヤ人、エラム人、またメソポタミヤ、ユダヤ、カパドキヤ、ポイントとアジヤ、

2:10 フルギヤとパンフリヤ、エジプトとクレネに近いリビヤ地方などに住む者たち、また滞在中のローマ人たちで、

2:11 ユダヤ人もいれば改宗者もいる。またクレテ人とアラビヤ人なのに、あの人たちが、私たちのいろいろな国ことばで神の大きなみわざを語るのを聞こうとは。」

2:12 人々はみな、驚き惑って、互いに「いったいこれはどうしたことか。」と言った。

2:13 しかし、ほかに「彼らは甘いぶどう酒に酔っているのだ。」と言ってあざける者たちもいた。

今日5月23日は聖霊降臨日

ペンテコステの礼拝です。

イースターの後、復活されたイエス様が  
40日の間、地上で何をされたかを学んできました。  
た。

天に帰られたイエス様は約束通り、五旬節の  
日に聖霊を弟子たちの上に豊かに注いでくださ  
いました。

今日のペンテコステは  
教会の誕生日です。

教会の誕生日に起こった出来事を  
しっかりと学んで行きましょう。

2:1 五旬節の日になって、みなが一つ所に  
集まっていた。

2:2 すると突然、天から、激しい風が吹い  
てくるような響きが起こり、彼らのいた家全  
体に響き渡った。



五旬節とは50日目のことです。

ユダヤ教には3つの祭りがありました。

過ぎ越しの祭り 春

五旬節 初夏

(小麦の収穫の初穂をささげる祭り)

仮庵の祭り(収穫感謝祭) 秋

全国から巡礼者が多くエルサレムの神殿に礼拝に行きました。

この日弟子たち皆が、  
120人ほどの弟子たちが  
一つ所に集まっていた。

彼らのいた家全体に大きな響きがあった。  
弟子たちはすぐに他国のいろいろな言葉で宮の  
人々に話し始めた。

弟子たちは家にいる時聖霊が下ったのか  
宮にいる時に聖霊が下ったのか。

エルサレムの祭りには全国から何万にという巡礼者がエルサレムを訪れている。

ヨセフの時のように旅館は満杯。

おそらく宮の中の庭に、仮設のテントが多数設営され、ガリラヤから、〇〇から、地域ごとにテントが張られ、そこで宿泊していた。

120人の弟子たちも宮の中に一つのテントの中で集まって熱心に祈っていた。

そこに聖霊が風のように注がれてきました。

聖霊は激しい風のように  
弟子たちの上に注がれてきました。

ヨハネ3:8

風はその思いのままに吹き、あなたはその音を  
聞くが、それがどこから来てどこへ行くかを知らな  
い。御霊によって生まれる者もみな、そのとおり  
です。

風には力がある。

風に従う時、力を受けることができる。

風力発電、帆船、ヨット。

ハンググライダー、グライダー

風に逆らえば力は受けられない。

風は目に見えない。風に影響されたものから風の存在、方向、力を知る。

聖霊に逆らわないで、聖霊の力を受けて歩む。

**聖霊の働きの自由、  
人の思いや願い、計画とは違う。  
聖霊の働かれるところには  
響き、影響、働きがある。**

聖霊は炎のような別れた舌となって  
現れ、一人一人の上に留まった。

聖霊は炎



炎の聖霊は焼き尽くす。

罪をきよめる。心の思いを聖める。

心を燃え立たせる。

心を温める。

風のように外から働く力と炎のように内から燃え  
上がる力。

聖霊は炎のような舌。

2:4 すると、みなが聖霊に満たされ、  
御霊が話させてくださるとおりに、  
他国のことばで話した。

聖霊は

私たちに語ってくださる。  
私たちが語れるように導かれる  
相手の人にわかるように、  
通じるように話させてくださる。

1:13 彼らは町にはいると、泊まっている屋上の間に上がった。この人々は、ペテロとヨハネとヤコブとアンデレ、ピリポとトマス、バルトロマイとマタイ、アルパヨの子ヤコブと熱心党員シモンとヤコブの子ユダであった。

1:14 この人たちは、婦人たちやイエスの母マリヤ、およびイエスの兄弟たちとともに、みな心を合わせ、祈りに専念していた。

2:1 五旬節の日になって、みなが一つ所に集まっていた。

聖霊は一つにしてください。

バラバラのものを

敵対していたものを一つにしてください

取税人であったマタイと熱心党員シモンも

信仰により、聖霊により

一つにさせていただいている。

聖霊は、心を一つにしているところに  
働いてくださる。

分裂しているところには働かない。

心を一つにして祈っているところに  
働いてくださる。

## マタイ18:19

まことに、あなたがたにもう一度、告げます。もし、あなたがたのうちふたりが、どんな事でも、地上で心を一つにして祈るなら、天におられるわたしの父は、それをかなえてくださいます。

18:20 ふたりでも三人でも、わたしの名において集まる所には、わたしもその中にいるからです。」

聖霊はめいめいの国の言葉を用いる

2:8 それなのに、私たちめいめいの国の国語で話すのを聞くとは、いったいどうしたことでしょう。

2:9 私たちは、パルテヤ人、メジヤ人、エラム人、またメソポタミヤ、ユダヤ、カパドキヤ、ポイントアジア、2:10 フルギヤとパンフリヤ、エジプトとクレネに近いリビヤ地方などに住む者たち、また滞在中のローマ人たちで、2:11 ユダヤ人もいれば改宗者もいる。またクレテ人とアラビヤ人なのに、あの人たちが、私たちのいろいろな国ことばで神の大きなみわざを語るのを聞こうとは。」



聖霊は

私たちめいめいの

国の国語で話すのを聞くとは

あの人たちが、私たちのいろいろな

国ことばで神の大きなみわざを語るのを

聞こうとは。

聖霊は私たちのわかる、

日常のことばで語ってくださる。

聖霊はありのままの私たちを受け入れ  
用い、聖霊の器としてくださる。

背伸びしなくてもよい。

いい格好を続けなくてもよい。

日常生活の中で聖霊は働き導いてくださる

修道院などに行かなくても

日常生活の中で働いてくださる。

この世の資格、学歴、立場がなくても

わざわざ学びをしなくても聖霊は用いてくださる。

聖霊は葡萄酒のように

2:13 しかし、ほかに「彼らは甘いぶどう酒に酔っているのだ。」と言って  
あざける者たちもいた。

ペテロも

2:15 今は朝の九時ですから、あなたがたの思っているようにこの人たちは酔っているではありません。  
せん。

## エペソ5:18

また、酒に酔ってはいけません。そこには放蕩があるからです。御霊に満たされなさい。

5:19 詩と賛美と霊の歌とをもって、互いに語り、主に向かって、心から歌い、また賛美しなさい。

聖霊に満たされなさい

聖霊の支配を受けなさい

酒が人を支配するのではない。

酒は心、ことばに影響を与える。

酒の影響ではなく

聖霊に影響されて歩む。

酒が人を支配するように

聖霊は人を変え、導き、

力や知恵、活舌を与える。

2:7 イエスは彼らに言われた。「水がめに水を満たしなさい。」彼らは水がめを縁までいっぱいにした。2:8 イエスは彼らに言われた。「さあ、今くみなさい。そして宴会の世話役のところに行って行きなさい。」彼らは持って行った。2:9 宴会の世話役はぶどう酒になったその水を味わってみた。それがどこから来たのか、知らなかったもので、・・・しかし、水をくんだ手伝いの者たちは知っていた。・・・彼は、花婿を呼んで、2:10 言った。「だれでも初めに良いぶどう酒を出し、人々が十分飲んだころになると、悪いのを出すものだが、あなたは良いぶどう酒をよくも今まで取っておきました。」

この聖霊を受けることにより  
教会は誕生しました。  
信じたらだれでも救われる、  
今日の教会が生まれました。



**この日は五旬節**

**小麦の初穂をささげる祝日であります。**

**主が与えてくださった収穫、**

**初物をささげています。**

**聖霊の働きにより、収穫を得ることのできる**

**記念の日に教会は生まれました。**

**収穫を信じて祈りましょう。**

祈り

父なる神様、今日は教会の誕生日、ペンテコステの礼拝をささげることが出来て感謝します。イエス様は天にお帰りくださいましたが、聖霊が無限に信じる者の心に注がれていることを心から感謝します。聖霊の満たしを受けて、心を聖めていただき、温かい心を与えてくださって、優しい、知恵ある言葉をもって神様の愛を伝えさせてください。主の名によって。アーメン

# 主の祈り

天にまします我らの父よ  
願わくは御名をあげさせたまえ  
御国を来たらせたまえ  
御心の天になるごとく 地にもなさせたまえ  
我らの日用の糧を今日も与えたまえ  
我らに罪を犯すものを我らが赦すごとく  
我らの罪をも赦したまえ  
我らを試みにあわせず  
悪より救いいただいたまえ  
国と力と栄えとは  
限りなく汝のものなればなり アーメン

## 【今週の聖句】 ヨハネ福音書3章8節

「風はその思いのままに吹き、あなたはその音を聞くが、それがどこから来てどこへ行くかを知らない。御霊によって生まれる者もみな、そのとおりです。」

**【今月の聖句】 詩篇51篇17節**

**「神へのいけにえは 砕かれた霊。打たれ 砕かれた心。神よ あなたはそれを蔑まれません。」**

献金・祈り



祝禱

仰ぎ 願わくは、  
われらの主イエスキリストの恵み  
父なる神の愛、  
聖霊の親しき交わりが  
会衆一同の上に  
豊かに限りなくあらんことを。

アーメン

# 報告